

令和8年度 学校経営方針

練馬区立小中一貫教育校
みらい青空学園
校長 坂本 司

「ときめき」「ひらめき」「きらめき」のある学校を目指して

1 目指す学校像

毎日がわくわくする「ときめき」のある学校
分かる喜びやできる喜びにあふれる「ひらめき」のある学校
一人一人が活躍し成長する「きらめき」のある学校

2 学校の教育目標

共生社会の実現に向けて、人権尊重の精神を基調とし、地域と共に小中一貫教育9年間で「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かで創造性あふれる児童・生徒の育成を目指す。

【知】 主体的に学び探究し、自らの考えを広げ深める人
【徳】 自他の人権を尊重し、思いやりの心をもって行動する人
【体】 心身ともに磨き、気力・体力の向上に努める人

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

施設一体型小中一貫校の強みを生かした児童・生徒同士の交流活動の日常化とともに、通常の学級および特別支援学級などの交流学习の充実、地域および近隣の大学などの教育機関との連携を図り、9年間の多様な「関わり」と「体験」を通じて、児童・生徒の豊かな心と創造性を養う。また、学習指導・学習方法を1年生から9年生まで段階的に発展させ、学ぶ楽しさを実感させる。さらに、9年間の成長を見通した体育健康教育を実施し、健全でたくましい心身を育む。

9年間の多様な「関わり」と「体験」を通じて、豊かな心と創造性を養う
9年間の一貫した学習指導を通じて確かな学力を身に付けさせ、学ぶ楽しさを感じさせる
9年間の発達段階に応じた体育健康教育を通じて、健全でたくましい心身を育む

4 小中一貫教育校として9年間を見通した教育

学年	小学部							中学部	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
発達の特徴	具体的な物を通して考える時期				論理的・抽象的思考へ移行する時期			論理的・抽象的思考を着実にを行う時期	
指導の重点	基礎・基本を繰り返して基本を学ぶ				基礎・基本を生かして意欲的に学ぶ			基礎・基本を応用して主体的に学ぶ	

9年間を見通し、発達の特徴を踏まえ、指導の重点に基づく教育を行うとともに、6年生で卒業し他校へ進学する児童および7年生で他校から入学する生徒もいることから、6学年では小学部の最高学年としての活躍や初等教育のまとめとなる機会に、7学年では前期中等教育の始まりとして中学部での学校生活のスタートに向けて、夢や希望をもち決意を新たにできる機会となるようにする。

5 取組の重点目標と方策

確かな学力の向上（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、ICTの活用、メディアセンターをはじめとする施設の活用、学習規律の確立、読書活動の充実、自己学習力の習得）

豊かな心の醸成（交流活動・交流学习の充実、特別支援教育の充実、人権教育の推進、道徳教育の充実、いじめの未然防止・早期発見・早期対応、登校支援の充実、挨拶の定着、美化活動の推進）

健やかな体の育成（基本的な生活習慣の確立、規範意識の定着、運動時間・量の確保、学校保健の充実、食育の推進、学校安全の徹底、食物アレルギー事故防止の徹底）

信頼され地域の拠点となる開かれた学校（積極的な情報発信、教育活動の公開、教育環境の整備、保護者・地域との連携、関係機関との連携、大学・複合施設との連携、服務事故防止の徹底、教職員の健康維持・増進）